

日 時	令和8年3月26日(木) 10:00~10:30 第5回経営会議
出席者	伊地知副市長、佐藤副市長、鈴木副市長、技監、政策経営局長、総務局長、財政局長、市民局長
欠席者	平原副市長、脱炭素・GREEN×EXPO推進局長、港南区長
議 題	1 市営バスの経営改善策について【交通局】
議 事 要 旨	<p>【論点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市営バスの運賃を改定する。 ・市民負担を考慮した運賃額を設定する。 ・令和8年第2回市会定例会に条例改正案を提出する。 <p>【説明要旨】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和8年度予算と直近の収支の動向等を踏まえた長期収支見通しでは、令和10年度に資金不足が発生し、令和11年度には資金不足比率が20%を超え、経営健全化団体となることが見込まれるため、運賃改定による抜本的な収支改善が急務である。 ・国の認可対象である上限運賃は条例で規定し、実際にお客様からいただく実施運賃は企業管理規程で規定している。 ・大人普通券及び通勤定期券の実施運賃は、急激な市民負担の増加を考慮して240円を基準に改定し、家計の負担軽減を目的に小児IC普通券の実施運賃は引き下げ、通学定期券の実施運賃は据置きとする。 ・国の運賃認可の考え方を踏まえ、認可申請にあたっては270円（大人普通運賃）を上限運賃として申請する。 ・令和8年第2回市会定例会で条例改正案を提出し、議決後、国土交通大臣に対し上限運賃の変更認可申請を行い、認可を受けた後、実施運賃の届出を行う。 ・実施運賃を改定してもなお、令和12年度に経営健全化団体となる見込みであることから、物価高騰や人件費の状況を見極めながら、次期中期経営計画の期間内でさらなる経営改善策を検討する。 <p>【主な意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後の収益向上に向けた改善策（経営努力の具体策など）を検討すること。 ・実施運賃の改定に伴い、バスの快適性・利便性の向上の改善など、市民の実感に繋がるような取組を進めること。 ・中期経営計画と横浜市中期計画2026-2029との整合性を図ること。 ・一般会計への影響について、全市的に整理すること。 ・経営改善の観点から、本市で行うにぎわいづくりの施策等と連携し、より良いバス事業を展開していくこと。 ・現在は物価高騰の渦中にあり、物価上昇に合わせた運賃の引き上げを今後も

考える必要がある。今後の見通しを示しながら、地域公共交通の維持に必要なものとして、運賃改定の考え方について対外的な視点で整理し、市民の皆様の理解を得ていく必要がある。

【結論】

主な意見を踏まえつつ、局案の方向性について了承。